

## 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域に学び、地域に触れ合う『天伯峡ほたる』再生事業
事業主体 (連絡先)	山吹天伯峡ほたる管理委員会 水野 和男 (0265-35-3757)
事業区分	(5) 環境保全、景観形成に関する事業 (1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	766,800 円

### 事業内容

#### 1. ほたる専用水路の整備

ほたるのエサとなるカワニナの繁殖が出来るように、専用水路を新設し、カワニナを育てて自然を生かした実態を残す。平成25年度に別の場所に水路を整備し、カワニナの繁殖にとっても効果があった。今回は、今ある水路に手を入れて、カワニナの住む環境を作り、来年度以降さらにカワニナの繁殖を期待したい。

・時期 平成29年度中 ・場所 山吹地区 天伯峡内の水田

・工種 水路工 L=34.2 H=0.7m



【カワニナの住む水路の改】

### 【目標・ねらい】

- ① 環境保全
- ② 景観形成
- ③ 地域との交流、来訪者との交流
- ④ 次世代の後継者対策

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

地域と学校が連携し、世代間の交流が深まる。

ほたる再生により、多くの者が訪れ、ほたるを介した交流が深まる。

ほたるを飼育することにより、環境教育となる。

6/17にほたる祭りを開催し、1,000人以上の見学者がいたが、今年度はその日はまだ発生状況が良くなかったが、次の週あたりは発生状況がよかった。

### ※自己評価【A】

#### 【理由】

来年度以降のほたるの発生に向け、水路の改修を行い、カワニナの住む環境ができ、さらに繁殖を期待し、ほたるの発生が増え、多くの観光客を望む。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

来年度はカワニナの繁殖も良く、ほたるの発生の増加も見込まれるため、さらに見学者の増加が期待される。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある